

鎌倉楽しむ会

藤沢・ 白幡神社から 極楽寺へ



(スタート・藤沢駅 9時30分)

平成28年 3月 23日・30日

江ノ電



●鎌倉の町の中を縫って走る江ノ島電鉄、通称「江ノ電」は藤沢と鎌倉間 10.1km を約 34 分で走る単線で、沿線の住民にも親しまれている。明治 35 年(1896) 藤沢から片瀬までが開通。2 年後極楽寺まで。長谷へ抜ける「極楽洞」トンネル工事が難航し明治 40 年になって鎌倉駅まで開通した。



①② 白幡神社と義経首洗い井戸

● 創立年代は不詳だが、古くは白幡明神と呼ばれ、相模一の宮の「寒川神社」を勧請したので、寒川比古命と源義経を御祭神としている。

● 文治5年(1189)に奥州平泉で自刃した義経の首が葬られたとするとところから、建長元年(1249)より義経も合祀するようになった。社殿が小高い丘の上にあり、その丘が亀の形をしているといふので、亀形山と呼んでいる。庚申供養塔などがある。



● 義経の首は黒塗りの棺に納め、酒に浸して下僕2人が担って鎌倉にきた。頼朝の命を帯びた和田義盛の「間違いなし」の報告で、すぐに片瀬の浜に捨てられたという。その後、白幡川に金色の光を放つ亀が義経の首を背負って上ってきた。里人たちは首を丁寧に洗い清め、神社の傍らへ塚を築いた。その後合祀した。

③ 遊行寺 (時宗総本山清浄光寺)



● 開山は正中2年(1325)。遊行四代吞海上人。図は江ノ島一の鳥居を背景に描いたもので遊行寺橋付近が大山詣や江ノ島詣の参詣客でにぎわったことを示しています。(藤沢地区ポータル「文化・歴史情報より」)

● 時宗開祖の「一遍上人」は伊予国豪族・河野道広の子として、建応元年(1239)に生まれる。10才の時、母に死なれ父親の勧めで出家し、浄土教を学ぶ。33才の春、信州善光寺に参籠し念仏往生を悟る。36才の時、熊野本宮で靈験を得、名を「一遍」とし、念仏札「南無阿弥陀仏 決定往生六十万人」を配る全国遊行を始める。その結縁の数は250万人に及ぶという。そして、踊り念仏も広める。晩年の正応2年(1289)に入山した播磨兵庫の観音堂にいたるまで、寺院31ヶ寺・神社13社に参詣している。

④ 龍口寺



●日蓮聖人が入滅された後、直弟子の日法聖人が、延元二年(1337)「龍ノ口法難靈跡」として、一堂を建立し、自作の日蓮聖人像と、首の座の敷皮石を安置したのが寂光山龍口寺の始まりです。境内には明治43年建立の「五重塔」が美しく、また、日蓮聖人法難跡には供花が絶えることがないようです。

⑤ 稲村ヶ崎



●稲村ヶ崎を西側からの画像です。新田義貞が鎌倉攻めをし鎌倉幕府を滅ぼすこととなった有名な古戦場の所です。中腹は海浜公園となっていて、園内には逗子開成中学校ポート七里が浜遭難事件(1910)の慰霊碑がある。

●「太平記」によれば、新田義貞は腰に差していた黄金造りの太刀を抜いて海に向かって「わが軍のため道を開き給え」と龍神に祈って、海中に投げ込みました。すると潮が引いていった。



新田義貞の鎌倉攻め

●新田義貞は、元弘2年(1333)5月8日上野国・生品明神において蜂起し、八幡荘から碓氷川・神流川を越えて鎌倉街道(上ノ道)を一挙に南下する。5月9日には笛吹峠を超えて入間川に達する。5月11日には小手指河原で合戦、幕府軍と引き分け。5月12日には分倍河原で合戦するも敗退し堀兼まで退却。体制を立て直し、5月16日分倍河原の幕府軍を急襲し一気に鎌倉に迫る。5月18

日には、
①化粧坂・新田軍
②小袋坂・堀門軍
③極楽寺坂・大館軍
の三方から攻めるが①②は優勢であったが、③は苦戦していたので、新田軍が駆けつける。5月20日の夜半に龍神に祈願し、21日未明の干潮を利用して由比ガ浜に突入し幕府軍を追い詰め、22日には北条一族は自害した。挙兵から2週間で鎌倉幕府は崩壊した。

⑥ 十一人塚



●元弘3年(1333)の鎌倉攻めの浜手の大将・大館宗氏は極楽寺坂へ攻め込んだ。しかし、鎌倉側に反撃され、稲瀬川で討ち死にした。そして、宗氏以下の十一人も自刃し、ここに葬られた。後に十一面観音像が建てられ祀った。

⑦ 日蓮聖人袈裟掛けの松



●文永8年(1271)、「立正安国論」を唱え幕府に捕らえられた日蓮聖人は、龍ノ口刑場へ連れられて行く途中、袈裟を血で汚すのはおそれ多いと松の下枝に掛けたという。当時の松は枯れ、何度も植え替えられた。「南無妙法蓮華經」の石碑が建つ。

⑧ 極楽寺 (真言律宗)



●山号は靈鷲山(りゅうじょうぜんせん)。開山は忍性。開基は北条重時。ある老僧が深沢に草堂を建て、阿弥陀如来像を安置して極楽寺と称した。正元元年(1259)、二代執権義時の三男重時が現在の地に再

建したと伝えられる。文永4年(1267)、重時の子、長時と業時の兄弟が、当時、多宝寺に入山していた忍性を招いて開山した。
●忍性は、ここに施薬院、悲田院、施益院、福田院の四田院を設け不幸な人を救済するための福祉事業に取り組んだ。最盛期は、七堂伽藍と四十九の塔頭を持つ大寺院であった。また、人間だけでなく病気や年老いた牛馬の面倒を見る病舎を建てるなど、ボランティアの先駆者

ともいえる徳の高い僧侶で、人々から医王如来と崇められた。そのほか橋を架けるなどの土木事業にも力を注いだ。
●本尊の木造清涼式釈迦如来立像、木造釈迦如来坐像、十代弟子立像などは、鎌倉時代の作で、国の重要文化財。密教法具類も国の重要文化財。裏手には忍性菩薩廟がある。秘仏の本尊は4月7・8・9日のみ公開される。

⑨ 伝上杉憲方



● 上杉憲方は山ノ内上杉氏の祖(建武4年1335~応永元年1394)。室町時代に鎌倉公方・足利氏満に仕えて執事になった極楽寺坂にある石塔群のうち、七層塔が憲方の墓で、五輪塔は妻の墓とされる。

⑩ 成就院 (真言宗大覚寺派)



● 真言宗大覚寺派。山号は普明山。開山は弘法大師。弘法大師が諸国巡礼の折、百日間にわたる虚空蔵菩薩を祀る修法を行ったところと伝えられる。
● 三代執権の北条泰時が都から高僧を招いてこの寺を創建し、北条一族の繁栄を祈ったという。

● 新田義貞により鎌倉幕府が滅ぼされた元弘3年(1333)の戦火で寺は焼け落ちたが、江戸時代に再建され、現在に至っている。
● 本尊の不動明王は縁結びのご利益があり来訪者が多いが、山門に続く石段の道の両脇に数多く植えられたアジサイの美しい季節には特にそのアジサイの美しさを愛でにくる来訪者が多い。
● 境内には法隆寺を思わせる八角堂がある。大正10年の聖徳太子1300年忌に建てられ、聖徳太子を祀っている。



● 上の画像は、成就院の東結界門から見える素晴らしい由比ガ浜の光景です。このあたりに咲くアジサイは見事で262株植えられているという。般若心経の文字数と同じ。石段は108段あるという。

⑪ 虚空蔵堂



● 天平時代に行基菩薩が像を彫って祀ったと伝えられる。鎌倉時代には源頼朝の命により秘仏とし、35年に一度だけ開帳されていた。現在は毎年一・五・九月の十三日に開帳される。

⑫ 星の井



● 「星の井」です。鎌倉十井の一つで、昔、この井の中に昼間でも星の輝きが見えたことから、この名がついたという。「行基」は、底をさらってみると光り輝く石を得、それを「虚空蔵菩薩」の化身と思い、お堂を建てて祀ったということです。

力餅家



● 極楽寺坂下の「力餅家」の画像です。「権五郎力餅」が有名で、創業300年ということです。日持ちがないが、お土産には超人気の一品ということです。

⑬ 御霊神社



● 御霊神社の御祭神は鎌倉権五郎景政。平安時代の創建。景政は平安時代後期の平氏一門の武士で、鎌倉武士団を率いて湘南一帯を開拓した開発領主である。源義家に従い「後三年の役」に出陣し、右目を射抜かれてもひるまず戦ったという武勇伝が残っている。

菩薩行基について

● 行基は天智7年(668)に大和・葛城山の麓に生まれる。15才で出家して山に入り、37才まで山林修行をつづけ、薬草や呪術を体得したと思はれる。38才で山を下り堺に大修恵院を建て山で修行した薬草や病氣治療の知識をもって老若男女を治療した。晩年の天平21年(749)の82才までに全国各地に49院を建立した。また、聖武天皇の東大寺大仏開眼には多大の功績を残した。

● 平成10年(1998)11月東大寺で行われた「行基菩薩」1250年遠忌には「行基由縁の寺」として岩手県から宮崎県まで宗派を超えて646寺が名を連ね、さらに堂宇の建立や本尊の造立など行基伝承を有する寺院は1400ヶ寺を数えるという。しかし、行基は、最澄(766~822)や空海(774~835)のように現代では知られていない。それは当時の奈良仏教の枠内で活動し、新しい宗派を持たなかった故と思われる。

鎌倉楽しむ会 第6回コース地図

- ④ 龍口寺
- ⑤ 稲村ヶ崎
- ⑥ 十一人塚
- ⑦ 日蓮聖人袈裟掛けの松
- ⑧ 極楽寺
- ⑨ 伝上杉憲方
- ⑩ 成就院
- ⑪ 虚空蔵堂
- ⑫ 星の井
- ⑬ 御霊神社

ちょっぴり立ち寄り！ 行合橋

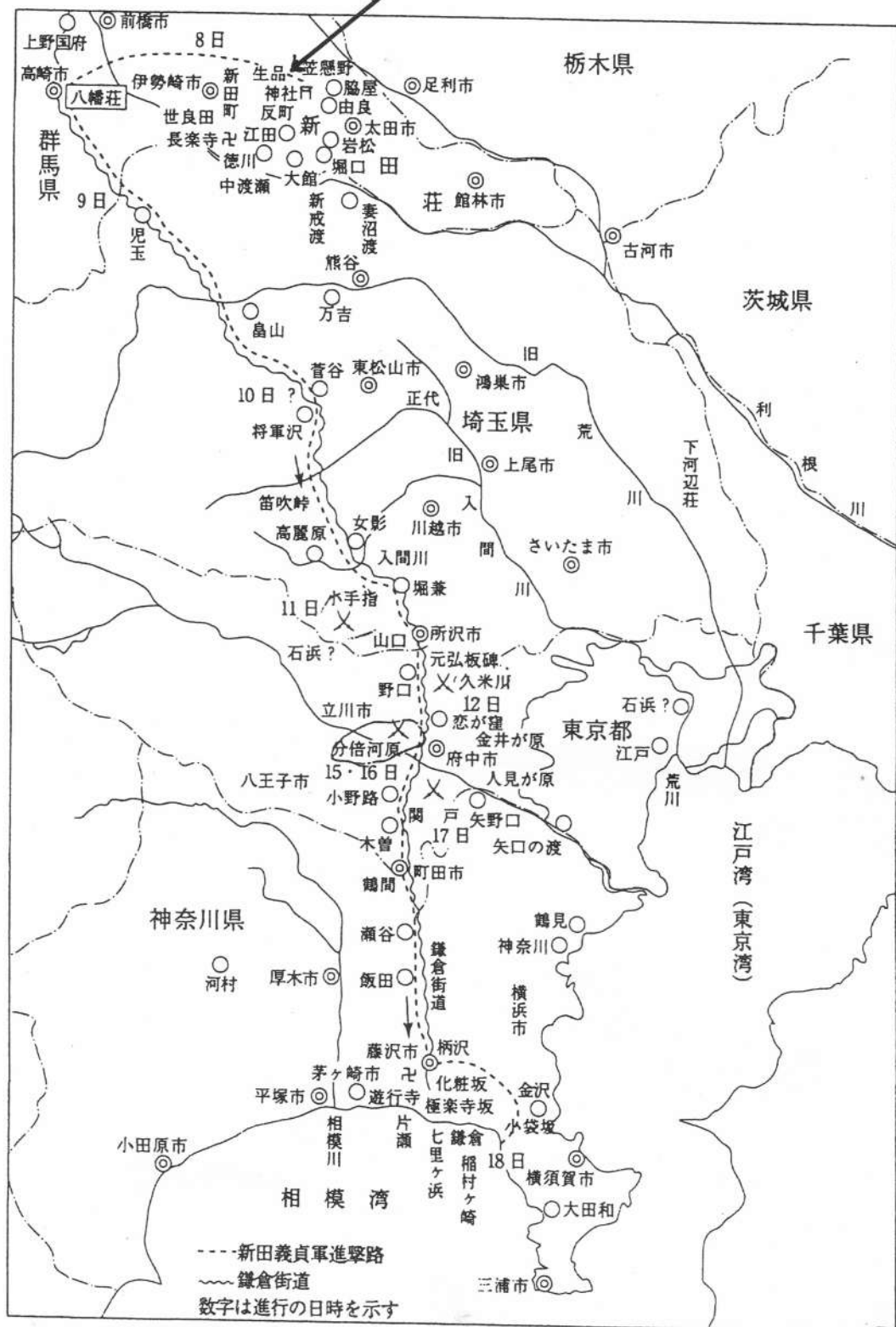
昼食 Main

MAPPLE

(C)2015 Shobunsha Publications, Inc.

地図上の1センチは 約 200 メートル
印刷中心は 東経 139度30分53秒 北緯 35度18分24秒

新田義貞公の旗挙げ場所
いくしな
「生品神社」



新田義貞鎌倉攻めの進路
 (『新田義貞公根本史料』を補訂)